

白井市文化センターのあり方 検討ワークショップ 第5回

「市民参加について考える」

2022年3月1日(火)
18:15～20:30

本日のプログラム

時間	内容
18:15	<ul style="list-style-type: none">・ごあいさつ・前回の振り返り・事例紹介・ワークショップの進め方、お約束
18:40	グループワーク（60分） 「市民参加について考える」 <ul style="list-style-type: none">・自己紹介（5分）・個人で意見出し（15分）・グループワーク（20分）・まとめ（20分）
19:40	グループ発表
20:00	文化センターあり方検討について
20:25	なんでもアンケートの記入等
20:30	終了

前回の振り返り

前回の振り返り

施設	ジャンル	催事・利用目的	規模・設備機能
文化会館	大ホール	・白井のプロ音楽家のコンサート、著名人の講演会	・文化会館大ホール 楽屋・換気の設備の改善
		・サークルの演劇、ダンスの発表会 ・子ども向けの音楽や人形劇	・800名規模でスクリーン・ネット環境
		・パブリックビューイングで観戦・応援 ・高校の吹奏楽の発表会	・800席以上へ座席数の増加、防音性の向上、舞台袖
	中ホール	・白井のアマ・プロ音楽家発掘（発表会）	・600名規模で母乳室・飽きた子の居場所・託児スペース(臨時でも可)
		・子どもが遊べるイベント ・小規模人形劇	・4つくらいのコーナーがある遊具 ・VR/ARの設備
		・映画上映（大ホールでも可） ・デジタルコンテンツ	・防音、簡単な照明、舞台/舞台袖の拡充
その他	・演奏会・発表会・コンサート全般	・100席程度の段式客席（収納可能） ・小さい子用の長椅子	
	・楽屋を練習室、リモートワークのために利用、サークルに開放	・楽屋の防音 ・パソコン、ネット環境、仕切り（1人でも使える）	
	・レッスン室は大ホールで催しのない平日、市民利用可にする	・第1練習室より大きなスペースがあると良い	
図書館	親子向け	・本を読んだりおしゃべりしたり寝転んだり	・20名で使用できる親子ルーム（飲食可）、マット（防水）、お話の部屋の囲いを可動式パーテーションに
		・布の絵本、子どもと一緒にのおはなし会	・10名（子ども）くらいの規模
	リモートワーク	・リモートワーク・ビデオ視聴用個室（図書館設備）	・防音・Wi-Fi・電源・モニター・プリンター（図書館供用）
その他	・庭に向けてのオープンスペース、森の読書学習室	・1スポットで30名くらいのセキュアWi-Fi（登録者のみ使えるWi-Fi）	
資料館	WS・アトリエ	・体験・WS工作を増やす、見るから創るへ	・アトリエ併設、スキルを持った市民を講師に
	教室・展示	・考古学発掘教室、かんたん古文書の読み方教室	・教室ができる場所
プラネタリウム	市民利用・貸出	・白井の歴史をシリーズで展示 ・個人のコレクション展示	・展示ケース等
		・プラネタリウム空間の市民利用、貸出（朗読・演奏など）	・設備は現状維持で可 ・音響設備
	鑑賞・講演会	・お話し会（星座の話、民話、怪談） ・音楽鑑賞（薄暗くして）	・個別ソファ席、ディスタンスとれる数 ・360° 投映可能な映写機
その他	・星見とお茶飲むを同時にできる(プラネタリウム/カフェ)	・AR機能付きプラネタリウム（床をスマホで見ると南の星が見えるなど）	
		・宇宙の体験（宇宙旅行の映像・音） ・アロマと星座	・ディフューザー（香りを出す装置） ・大型望遠鏡 ・望遠鏡ドーム

前回の振り返り

施設	ジャンル	催事・利用目的	規模・設備機能
共用部	エントランス	・休憩コーナー（会議や打ち合わせも） ・展示・イベント ・YouTubeなどで有名な方が来るきっかけに	・テーブルとイスをいくつか ・ストリートピアノ ・パネル
	カフェ	・お茶を飲んだりおしゃべりをする ・庭園にオープンカフェ ・チャレンジカフェオーナーへ貸す ・レンタルキッチンで料理を作って売る	・20~30名が入れるテーブル・椅子・売店
	屋外	・移動式テイクアウトカー、ランチに弁当買って公園で食べる ・梨管理を体験、後継者を育てる ・マルシェ、ファーマーズマーケット	・1日5台入れ替わり ・文化センターの庭に梨畑 ・文化センターの庭に梨園 ・飲食スペース ・電源
	諸室	・リモートワーク用個室・会議室（楽器を練習する場としても可）	・防音、Wi-Fi、電源、モニター、プリンター（共用）、オンライン予約
		・アトリエ展示室ースタジオ（卓球・ヨガ）	・バドミントンコート2面分中ホールくらいの広さ
		・教室（料理・陶芸・彫刻・パソコン）	・全用途に共通する床素材・照明（明⇄暗）
		・地元産品を使った創作料理の調理・販売 ・2階研修室を市民文化団体の活動・文化交流の場として活用 ・1人で落ち着いて本を読みたい	・調理設備、換気 ・可動式机、展示パネル ・閲覧席の仕切り
	その他	・文化会館の交通アクセスを改善する ・エレベーターに行事予定を貼る・飾る	・バス、最寄り駅のレンタサイクル ・太陽光発電、地熱利用の冷暖房など環境にやさしい設備改善

5

本日のテーマ

6

本日のテーマ

市民参加について考える

本日検討する項目は次のとおりです。

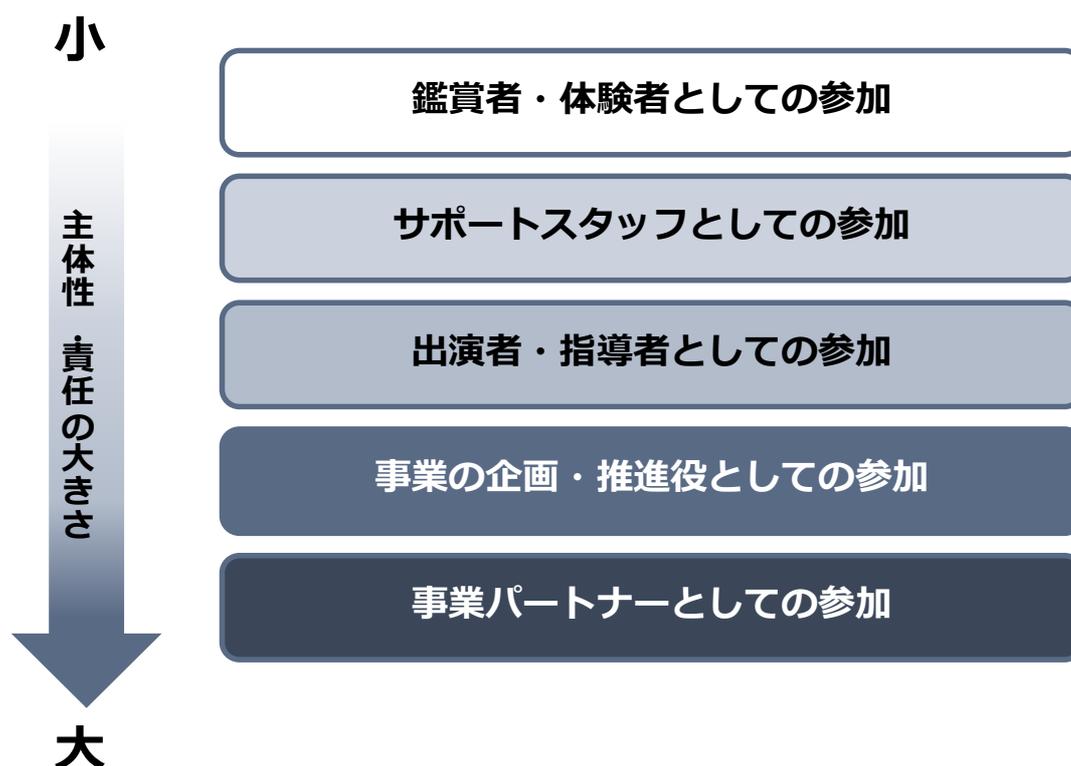
■これから白井市文化センターにどう関わっていくか

- 現在の施設と第2回～第4回で検討した施設の将来像を見据えながら、皆さんがこれから**本施設とどう関わっていきたいか**を考えてみましょう。
- これまでのワークショップでは、「あまり利用されていない施設もある」「事業の情報が分からない」などのご意見もいただきました。

本施設をより多くの方々に知ってもらい、利用してもらうために、これまでの関わり方を継続するだけでなく、市民の皆さんがどんな風に関わったら良いかも考えてみましょう！

7

市民参加の主体性・責任の大きさ



8

白井市文化センターでの実績紹介

9

鑑賞者・体験者としての参加



ピアノ・リサイタル
文化会館大ホール
(なし坊ホール)



幼児向け放映
プラネタリウム



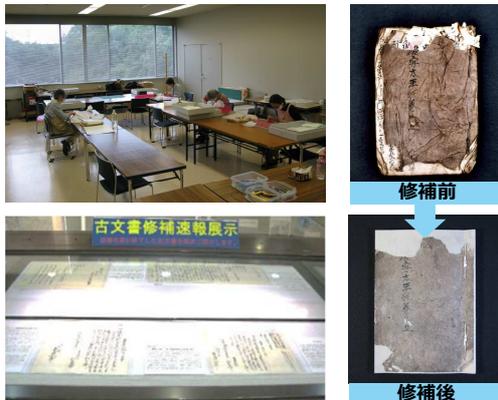
体験教室



展示風景
郷土資料館

サポートスタッフとしての参加

修補ボランティア（郷土資料館）



- ・白井市民の有志（市民学芸スタッフ）が学芸員と協働で古文書を補修する作業を行っています。
- ・修補作業の終わった古文書は『古文書修補速報展示』として展示・紹介しています。

※現在は企画展の展示のため、展示は行っていません。

白井天文同好会 ボランティア（プラネタリウム）



- ・白井市、近隣の10代～70代、約15名のメンバーで構成され、毎月行われる「星を見る会」や講座等の一連の観望会の補助を行っています。

画像出典：各施設HP、市提供 11

出演者・指導者 事業の企画推進役としての参加

白井市民文化祭



令和3年度の会場の様子

- ・毎年11月に市民が日ごろ取り組んでいる芸術・文化活動の成果を発表する場として開催。
- ・昭和32年(1957)に「白井村文化祭」として始まった、60年以上続いている行事。
- ・平成26年（2014）より白井市民文化祭実行委員会の主催となり、白井市文化団体協議会を母体とした市民団体が運営を担っている。
- ・開催日は複数にわたり、令和3年度の総入場者数は8,403名。

画像出典：市HP 12

事例紹介

13

サポートスタッフとしての参加事例

■ 東根公益文化施設まなびあテラス：山形県東根市 まなびあテラスサポーターズクラブ



- ・ 図書館・美術館・市民活動センターからなる複合施設「まなびあテラス」全体のサポーター。
- ・ 18歳以上の一般サポーターのほか、中高生からなるティーンズサポーターも活動。
- ・ 書架整理や展示替えサポート、イベント補助等のプログラムから自由を選択して参加。
- ・ 活動特典として施設内カフェのドリンク無料券やワークショップ優先参加権等を取得可能。

画像出典：まなびあテラスFacebook

出演者・指導者としての参加事例

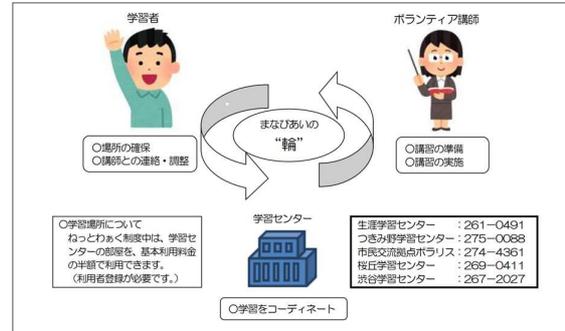
■ 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ (埼玉県富士見市)



市民とつくる朗読劇 『セブンスター』

- ・一般公募で出演者、スタッフを募集。
- ・プロの劇作家兼演出家、舞台スタッフらとともに作品を創造。

■ 大和市文化創造拠点シリウス 生涯学習センター (神奈川県大和市)



制度イメージ

やまと学習ねっとわあく

- ・知識・技能・経験を持っている人がボランティア講師として登録できる制度。
- ・学びたい人と相互の教え合い、学び合いを支援する。

画像出典：各施設HP 15

事業の企画・推進役としての参加事例

■ 黒部市国際文化センター コラーレ (富山県黒部市)

運営委員会

- ・専門家と利用者による組織。
- ・事業や運営について協議。

実行委員会

- ・地域住民の有志による組織。
- ・毎年2本のイベントを最初から最後まで、全て自分たちの手で創り上げる。



■ つくば市立中央図書館 (茨城県つくば市)

地域文化ボランティア

- ・図書館と協働し、図書館の利用促進を目的としたイベント等を企画運営。

【現在開催中の地域文化ボランティア企画】

- ・本好きのためのゆるっとトークルーム
- ・本についてのいろいろ、ゆるっとトークするイベント。



など

画像出典：各施設・団体HP 16

事業パートナーを含む参加事例

■ 茅野市民館（長野県茅野市）

NPO法人サポートC



基本構想から検討に携わってきた市民を中心に設立。指定管理者から一部業務を受託している。

【主な業務】

- ・ 自主事業の企画、実施/友の会運営
- ・ 情報紙の配布
- ・ 公演時のフロント、会場設営補助

事業パートナーとしての参加

事業企画会議



事業企画会議の様子



自主事業案の募集チラシ

- ・ 市民、指定管理者、アドバイザー、サポートC事務局等で構成。広く市民から募集した事業提案を基に、自主事業計画を作成している。
- ・ 市民から募集した企画が決定するまでの流れは、エントリーからプレゼン、最終決定まで約1年間。尚、プレゼンは公開型となっている。

事業の企画・推進役としての参加

画像出典：施設HP 17

本日のグループワーク

本日の検討項目

①これから白井市文化センターにどう関わっていくか

- 現在の施設と第2回～第4回で検討した施設の将来像を見据えながら、皆さんがこれから**本施設にどう関わっていきたいか**を考えてみましょう。
- これまでのワークショップでは、「あまり利用されていない施設もある」「事業の情報が分からない」などのご意見もいただきました。
本施設をより多くの方々に知ってもらい、利用してもらうために、これまでの関わり方を継続するだけでなく、市民の皆さんがどんな風に関わったら良いかも考えてみましょう！
- また、本施設が**文化芸術活動や生涯学習活動の拠点として発展**していくために**市民の皆さんがどんな風に関わったら良いか**という視点からも考えてみましょう。

19

本日の検討項目

■付箋の記入イメージ

①これから白井市文化センターにどう関わっていくか

鑑賞者・体験者として
イベントに参加したい

施設と公園をつなぐイベント
を企画、運営してみたい

気軽に活動に参加できる
サポーター組織があると
良い

「どのように関わりたいか」
「参加してみたい活動」
「こんなサポーター組織が
あったら良い」
など、自由にご記入ください。

20

テーマ「市民参加について考える」

▶作業イメージ

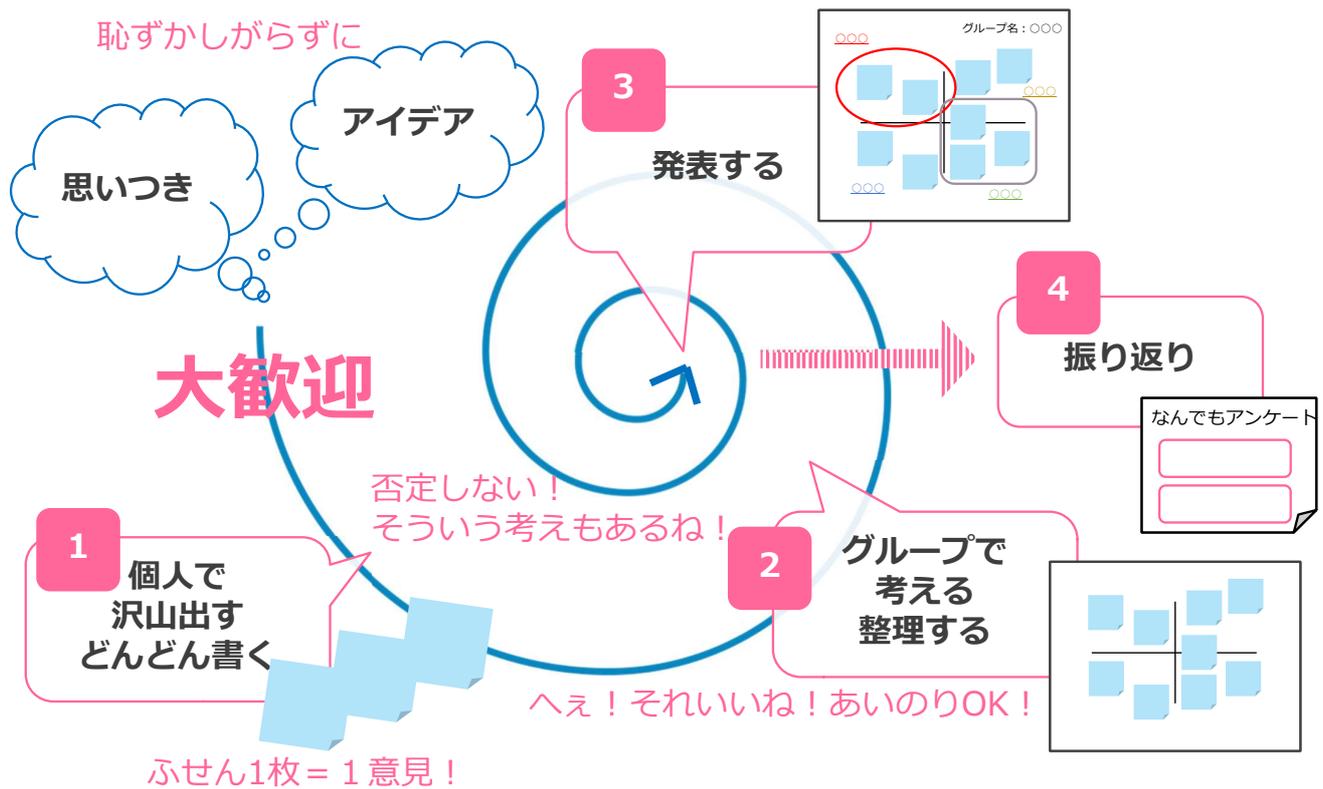
文化会館	図書館	郷土資料館	プラネタリウム	共用部・その他
これから白井市文化センターにどう関わっていく？				
鑑賞・体験者  出演者・指導者 	利用者   サポーター 	鑑賞・体験者  サポーター 	鑑賞・体験者  サポーター  	利用者  事業企画・推進役 

21

ワークショップの進め方・お約束

22

ワークショップの流れ



ワークショップのお約束

- は** 恥ずかしがらずに、**どんどん**書いてみる、出してみる。
- ひ** 否定しない！自分と違った意見も、それもあるね。
- ふ** **ふせん1枚に一意見**。なるべく沢山、なるべく短く。
- へ** へえ！それ、いいね！真似してOK！便乗して発想を広げる。
- ほ** 他の人・グループの意見を聴く、褒める。

感染拡大防止のためのお願い

- ご発言の際にマスクを外さないでください。
- 話し合いの際、手を挙げてからお話してください。
- 文房具などの共有、受け渡しは行わないでください。
- 書き終わった付せんは、机の上の分かりやすい位置に置いてください。
- マスクなどは会場に捨てず、お持ち帰りください。
(ご希望の方にゴミ袋をお渡しします)
- 終了後、名札とアンケート、文房具などはご自分の席の前に置いたまま、ご退出ください。
- 参加後に新型コロナウイルスの陽性となられた場合には、速やかに市にお知らせください。

25

グループ発表

26

文化センターのあり方検討について

27

文化センターのあり方検討委員会の概要

再掲

1. 委員会概要

項目	内容
名称	文化センターあり方検討委員会
事務	文化センターのあり方について調査審議すること
委員	学識経験者、生涯学習推進委員会の委員、教育機関の職員、市民、市職員 計14人
任期	文化センターのあり方に関する検討が終了するまで

2. これまでの検討

	主な議題・報告事項
第1回 (令和3年2月)	・今後のスケジュール・文化センターのあり方検討に関するこれまでの経緯
第2回 (令和3年3月)	・今後の検討委員会の進め方 ・市の財政推計、財政健全化への取組み ・近隣自治体及び同規模自治体における文化施設等の設置・運営状況
第3回 (令和3年6月)	・近隣施設（文化ホール等）の調査結果 ・各館の基礎調査結果（利用状況の整理等） ・市民アンケートの結果（中間報告）
第4回 (令和3年11月)	・各種アンケート、ヒアリングの結果 ・再整備の方法や費用、今後の検討の進めかた ・検討委員会と市民参加の役割

■文化センターあり方検討委員会のこれまでの検討概要

	特に質問、意見が挙がった議題	要望資料
第1回 (令和3年2月)		<ul style="list-style-type: none"> ・市の財政状況 ・市の現在の人口及び将来の人口推計 ・文化センターの運営経費 ・市民ワークショップ実施要項 ・同規模都市の文化施設規模調査 など
第2回 (令和3年3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・市の財政推計、財政健全化への取組み ・文化センターの運営経費 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣施設調査の結果 ・市民アンケートの結果（中間報告）
第3回 (令和3年6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託や民間施設との複合の可能性 ・学校利用における文化センターの重要性について 	<ul style="list-style-type: none"> ・Park-PFIや改修PFIの事例 ・各施設に付随する見積り費用
第4回 (令和3年11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・4パターンのあり方の方針（あり方検討の参考として提示された案） ・改修方針を松竹梅の3段階に分けた場合の竹案の概算算定一覧 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに詳細な見積り費用

第1回～第4回までのあり方検討委員会では、市の財政状況や仮に改修をする場合の見積り費用などをもとに、財政面から「文化センターのあり方」について先行して議論が進められました。また、検討の参考のため、市民アンケート、各施設の利用団体ヒアリング、本市民ワークショップを含む各種意見聴取の結果を委員会にて都度報告しています。

なんでもアンケート

今後の予定

回	日程	テーマ
第1回	令和3年9月	白井、文化センターのじまん・ふまんを考える
第2回	令和3年11月	施設のコンセプトを考える
第3回	令和3年12月	施設に必要な機能を考える
第4回	令和4年1月	施設機能の規模、設備を考える
第5回	令和4年3月	市民参加について考える



31

お疲れ様でした！

最後に

本日やこれまでのワークショップの感想、言い足りなかったことなど、「**なんでもアンケート**」にご記入ください。

第5回 白井市文化センターあり方検討ワークショップ
なんでもアンケート

お名前： _____

1. 本日やこれまでの感想をどうぞ！

2. 言いそびれてしまったこと、今後の要望など、なんでもどうぞ！

ありがとうございました！

32